

夏休みがやってくる! ああ、どうする?

いよいよ明日から夏休みです。勉強はもちろんやるべきですが、それ以外の普段できないことにもチャレンジできる期間です。なんとなく始まってなんとなく終わりが来たと思ったら宿題だけが残っていた・・・ということにならないよう、計画的に過ごしましょう。目標は、「これやって良かった!」「これができて良かった!」と思えることです。さらに、「これができるようになった」となれば最高です。まずは、夏休みにしかできないことをやってみましょう。何が考えられるでしょうか?

普段見られないものを見る。

遠くへ旅に出て現地の自然や文化的な施設を見るもよし、散歩でもして身近な自然を見て、美しい花や動物を発見するもよしです。美術館に行って芸術を鑑賞するのも良いでしょう。ゆったりした時間の中で、癒しの時間を過ごしてみましょう。人生観が変わる! ? かもしれません。

普段できないことをする。

作ったことのない物を作ってみる。やったことのないスポーツを試してみる。短歌を詠んでみる、などいろいろあります。自分で調べ、未知の領域に足を踏み入れましょう。新しい発見があるかもしれません。

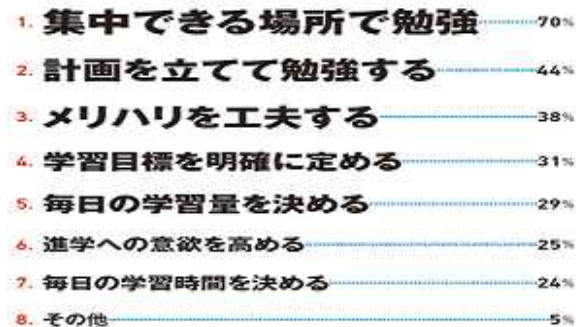
普段知ることのできないものを知る。

本を読む、図書館に行く、あまり会う事のできない親戚に話を聞く、など周りは知識の宝庫です。たくさんの知識を得て、ひとまわり成長した人間になりましょう。



夏休みに
ダラけず
勉強する秘訣
(旺文社
パスナビより)

夏休みにダラけず勉強する秘訣 (複数回答)



受験生はどうあるべきか。(Kei Netより)

規則正しい生活を送ろう!

「この夏が勝負!」と意気揚々と夏休みを迎えても、学校行事に追われたり、暑さやさまざまな誘惑などでダレてしまったりと、学習リズムだけでなく生活リズムまで崩れがち。

せっかくの夏休み、無駄のない有意義なものにするためにも、普段と変わらない生活で学習時間を確保し、自由時間とのメリハリをつけていきましょう。

学習計画の内容は具体的に!

「英語を頑張る」「数学問題集をやる」など抽象的なものではなく、「 月 日までに1学期のテキスト第 講までやる」「 月 日までに講習のテキスト第 講までの予習をする」「数学問題集の××分野の練習問題を2回繰り返す」など、それぞれの科目・分野で何をするのかを明確にして書き出すと効果的です。

毎日コンスタントに学習時間を確保!

「1日こもって勉強して、次の日はお休み!」など、極端にバラつきのある計画では効果がありません。気分転換はもちろん大切ですが、どんな時でも「これだけは絶対にやる!」という気持ちを持って、毎日一定の学習時間を必ず確保しましょう。たとえ単語30個覚えるだけでも、数学の問題1題解くだけでも全然違いますよ。

予備(調整)日を設けよう!

せっかくしっかり立てた計画でも、思っていたよりも時間がかかったり、体調を崩して勉強できなかったり...なかなか予定通りに進まないこともあります。そのようなときのために、5~7日間に1回程度、予備(調整)日を設けておきましょう。余裕を持って取り組むことができますよ。

前半は「不得意科目・分野克服」

後半は「演習で学力定着」

なんとなく時間的に余裕を感じる夏休み前半ですが、そんな気持ちに油断することなく、次の2点を押さえた計画を立てましょう。

(1)1学期(前期)の復習

(2)不得意科目・分野の克服

入試を意識しすぎて、難しいことばかりをあれもこれもと焦って取り組んでも効果はありません。コツコツこなしていけるよう、(1)と(2)を意識して勉強に取り組みましょう。

1学期の復習や不得意科目・分野の克服がしっかりできたら、次は演習を通して定着させましょう。目標とする大学の傾向を把握するために、過去問に目を通して見るのもいいでしょう。

受験生のみなさんは、何か特別なことをするわけではなく、しっかりと基礎固めをすることが大切です。受験とはいっても、授業で学んだことが基本です。自分の実力を分析して、確実にステップアップしましょう。高校3年生以外のみなさんも同じだと思います。